

第3次府中市生涯学習推進計画（案）に対する  
パブリックコメント手続の実施結果について

1 意見の提出期間

平成30年11月26日（月）から12月25日（火）まで

2 意見の提出者数

提出者数	件数	意見の提出方法（人数）				
		Eメール	FAX	郵送	意見投函箱	窓口
2人	6件	1人	0人	0人	0人	1人

3 意見の概要及び意見に対する市の考え方

	ページ	項目	意見の概要	市の考え方
1	6-7	第1章 計画の概要 1 策定の背景と 目的 (3) 策定の目的	「市民協働」(一歩踏み込んだ民間活力導入)による「学び返し」が地域づくりの課題解決に不可欠な政策手段であると、市民に訴えるべきだと思います。	第1章の1の(3)策定の目的において、「学び返し」は市民主体の生涯学習活動の確立を目指し、これまで以上に「学び返し」の市民協働の側面を強化していくことを記載しております。
2	8	2 計画の位置付けと期間 (1)計画の位置付け	生涯学習の定義が、社会教育分野だけでなく、学校・地域・家庭までを扱うとなると、市の対応組織もポリシーミックスに対処できる組織改革が必要と思います。	社会教育分野以外の生涯学習に関連する各個別計画との連携について記載しております。
3	20	第3章 計画の方向性 2 基本目標	「学び返し」を基本目標ではなく、一歩引いて、基本施策を推進する政策手段として具体化していくべきだと思います。	「学び返し」の普及と拡大を基盤とした基本目標としたうえで、基本施策を推進する政策手段として各施策の中の重点施策等に「学び返し」を活かした取組を記載しております。

	ページ	項目	意見の概要	市の考え方
4	22-29	第4章 具体的な施策 の展開  基本施策1 誰もが学べる 環境づくり	「学び返し」を周知するためには、講座の受講生は誰か、「学び返し」の適任講師の絞り込みが課題であり、関係者との議論を深めて結論を出すことが大切と考えられます。	基本施策1において、生涯学習の普及促進を目指した取組として多様な市民層に合わせた学習環境づくりやテーマの企画等について記載しております。
5	30-38	基本施策2 誰もが活躍できる環境づくり	ファシリテーター・コーディネーターによる市民企画講座への参画や生涯学習フェスティバル等学習センターでの実践学習を積み上げ、人生100年時代の「学び直し」に必要な環境整備に尽力して頂きたい。 併せて、生涯学習センターへの指定管理導入と市民協働の枠組みを成功事例とするために、基本施策の推進に向けた行政の的確な政策誘導とともに、協働パートナーに対する要求水準(例えば、ファシリテーターなどの受け皿機能)を明確に示すことも必要と思います。	基本施策2において、市民が持つ知識と技能を地域で積極的にいかせる場を創り出し、地域に還元できる事業を実施することを記載しております。 また、基本施策2では生涯学習ファシリテーター・サポーター、生涯学習ボランティアなどを活用した制度づくりについて記載しております。
6	39-45	基本施策3 生涯学習を支える基盤の整備	生涯学習センター、美術館、図書館、博物館の実務者連絡会議の創設といった「学び返し」の窓口のネットワークやPR対策が必要と考えられます。	基本施策3において、生涯学習系施設間の連携の強化や講座内容の共有等の市民のニーズを捉えた事業展開について記載しております。 PR対策については基本施策3の重点施策として、生涯学習の広報の強化を記載しております。